

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	合同会社 どんぐり ころころ児童デイ			
○保護者評価実施期間	2024/11/1		～	2024/11/25
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名(兄弟組2組)	(回答者数)	11名(兄弟組2組)
○従業者評価実施期間	2024/11/11		～	2024/11/16
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2024/12/28			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数により細やかな関わりを持つことが出来る。	受け入れ人数を調整して、利用者個々に関わる時間を多く持てるような体制を組んでいる。利用者様の特性を把握し、支援者誰もが統一した対応が出来るように、その都度確認しながら取り組んでいる。	人数が増加しても対応できるように、支援者のスキルアップを図り、より丁寧な支援と情報共有を進めていく。
2	アットホームな雰囲気の中、利用者様がゆっくりと余暇を楽しめる。	利用者それぞれの好みを把握し、ゆったりと余暇活動を楽しめる環境を整えている。また、好きな遊びの傾向を参考に新たな遊びの提供も行っている。	当事業所の雰囲気を大切にしつつ、安全面、衛生面に気をかけながら、利用者様それぞれが楽しく過ごせる場を提供できるように更なる改善を進めていく。
3	買い物やクッキング、お出掛けなど色々な経験が出来るプログラムを考え実施している。	支援者同士でプログラムを相談して決めている。過去の実施状況を基に活動内容を選択しつつ、生活していく上で必要なスキルの習得の為、支援者がフォローしながら「自分で出来た」の成功体験を積めるように配慮している。	利用者様の達成感を味わえるプログラムを設定して、成長と一緒に共感できるような活動を考え、支援者同士で話し合いながら設定を進めていく。また、実施後の振り返りを行い、利用者様にプラスとなる活動の提供を進めていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様対象のイベントや研修会、交流会の未実施。	実施にあたり運営企画に要する時間の確保が難しい。経験不足によりどのような手順で進めていくかが明確になっていない。	実施する内容を把握し、どのような手順で進めていくかを他事業所様の取り組みを参考に話し合い、実施出来るように進めていく。
2	保護者様への事業所運営に対する情報発信や細やかな情報共有の不足。	現状の事業所の取り組みをしっかりとお伝えする体制が整っていない。どのような事をお伝えするかをしっかりと把握できていない。	更新時アセスメント時などに当事業所の取り組み等を報告する場を設ける。また、通信などの書面やSNSなどの媒体を利用し、リアルタイムな情報発信できるように進めていく。
3	関係機関との密な情報共有、連携または地域との交流の場を持つなどの機会の未実施。	当事業所から積極的な関わりを持っておらず、自身の状態である。	当事業所より定期的に関係機関と連絡を密にとるようして情報の共有及び連携を進めていく。また、地域との関わりを持つため、地域イベント等の参加を視野に関わりの場を多く持てるようにしていく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ころころ児童ディ		公表日				2024/12/28		
			利用児童数				11名 (内兄弟組2組)		
							回収数		9
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8		1		限られたスペースの中でも、十分な活動が出来るように工夫しつつ、安全面に考慮してまいります。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8			1	支援員さんの配置数は毎回適切だと思います。今後も適切な配置数で行ってまいります。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1		1	見学時に室内を見させて頂きましたが、わかりやすい、生活しやすい空間だと思います。今後も利用者様が使いやすいような環境作りを模索して進めてまいります。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9				見学時に室内を見させて頂きましたが、わかりやすい、生活しやすい空間だと思います。今後も清潔で気持ちよく過ごせる環境作りを進めてまいります。		
適切	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8			1	子どもの発達に合った支援を受けられていると思います。利用者様それぞれの特性を把握し、それに担う支援を行うにあたり、支援者の更なるスキルアップを目指してまいります。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9				利用者様の状況に応じた支援プログラムを設定し、より楽しい活動になる様に取り組んでまいります。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9				モニタリングやアセスメントにてしっかりと聞き取りを行い、利用者様及び保護者様のニーズに伴った計画を作成してまいります。		

かな 支 援 の 提 供	8	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	1				今後も利用者様の成長に伴った目標に対して、支援者誰もが同じ支援が出来るよう、具体的な支援内容になる様に設定してまいります。
	9	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）に沿った支援が行われていると思いますか。	8			1		日々支援者で計画書の確認を行い、目標を意識した支援者行えるように取り組んでまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9				お出掛けであったり、工作など毎日プログラムが違うので工夫されていると思います。	利用者様が楽しんで参加できるプログラムを設定してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	2	3		現状交流の場が持ていない状態です。今後交流に向けた取り組みを模索してまいります。
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	1				今後も初期アセスメント、更新時アセスメント時に資料を基にわかりやすく丁寧に説明することを心掛けてまいります。
	13	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					より分かりやすい具体的な説明を行ってまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	1	2	1		現状ご家族様に対しての支援の場が持ていない状態です。今後実施に向けた取り組みを模索してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	9				連絡ノートで子供の様子を伝えている。	今後も色々な媒体を用いて保護者様との情報共有を務めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8			1		更新時アセスメントを中心に、その都度の支援が行える体制を整えてまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9					事業所として利用者様及び保護者様に安心して利用して頂ける様、職員一同心掛けてまいります。

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	3	1		現状ご家族様に対しての交流の場が持っていない状態です。今後実施に向けた取り組みを模索してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1		1		児発管及び管理者中心に対応させて頂いております。今後も迅速かつ適切な対応を心掛けてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8			1	お出掛け時、イベントなど子供の写真をLINEで送ってもらえるので、どのような活動をしたかわかりやすく子供の様子も見られるので大変ありがたいです。	今後も色々な媒体を利用して保護者様との情報共有できる体制を整えてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	1		お出掛け時、イベントなど子供の写真をLINEで送ってもらえるので、どのような活動をしたかわかりやすく子供の様子も見られるので大変ありがたいです。	今後も色々な媒体を利用して保護者様との情報共有できる体制を整えてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8			1		今後も個人情報の取り扱いには十分に留意してまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1		5		更新時アセスメント中心に各マニュアルの説明を行い、周知して頂きます。また、訓練との報告を合わせて行ってまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			4		今後は訓練実施時に保護者様にご報告できる体制を整えてまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8		1			今後もヒヤリハットなど支援者同士での共有をはかり、安全面に考慮した支援が行えるように努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6			3		事故等については、今後も連絡帳及び送迎時、管理者からのご報告を基本とした対応を進めてまいります。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	9					今後も利用者様、保護者様が安心して通所して頂ける事業所である様に努めてまいります。

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9				<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回楽しんで通所しております。お友達との関わりもそうですが、支援員さんの関わりも大好きです。</li> <li>・デイに行きたいと言う事が増えました。</li> </ul>	今後も帰宅時に楽しかったと思って頂ける事業所である様に職員一同努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	9				お買い物、クッキングなどいろんな経験が出来、成長に繋がっていると感じます。	今後も当事業所を利用してよかったと思って頂ける様、利用者様及び保護者様の手助けが出来るように精進してまいります。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	ころころ児童デイ		公表日		2024/12/28	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		10人定員ギリギリのスペースの為、受け入れ人数の調整を行い、安全面を重視した対応を取っている。	今後、利用者の増員に向け、増築などのスペースの確保を検討していく予定。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		指定基準通りに、適切な配置を行っている。	男性職員が少ない為、今後増員を進めていく予定。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		障害の特性に応じて入室にあたり、ドアだけではなく大きな窓からも入室できるようにしている。視覚でも確認できるようボードに予定を掲示している。	まだまだ改善の余地がある為、利用者目線で設備の改善を進めていけるように話し合っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		支援前、支援後に清掃、消毒を行い衛生面に気を付けている。ソファや椅子を置いてリラックスできる場所を設けている。	まだまだ改善の余地がある為、利用者目線で設備の改善を進めていけるように話し合っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		玩具部屋を自由に使えるようにしており、そのスペースで休憩を取ることも出来るようにしている。	まだまだ改善の余地がある為、利用者目線で設備の改善を進めていけるように話し合っていく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○	その都度、管理者を中心に個々で改善について話を進め、即座に出来ることは進めるようにしている。	今後、支援者それぞれの目標を設定し、定期的に面談を実施して振り返りの場を持てるようにしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様からのアンケートを閲覧し、その内容を基に今後のどのようにしていくかをその都度話をしている。	シフト制の為、全員まとまって話をする機会を作ることが難しい状態。定期的に集まる場を設け情報共有に努める。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		その都度、管理者を中心に個々で改善について話を進め、即座に出来ることは進めるようにしている。	定期的に話をする機会を設け、情報を共有できるようにしていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現時点では外部評価を利用していない。	今後検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		オンライン研修を中心に、市内で開催される研修については、参加出来るように進めている。	今後、社内、社外研修も含めた研修に参加してスキルアップできる体制を整えていく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		前月中に支援者で相談したプログラムを书面化して保護者様に配布している。	HPへの掲載準備が整っていないため、今後進めていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	○		児発管中心に作成を進めている。作成された計画書を支援者と共に確認する場を設けている。	今後もしっかりとアセスメントを行い、計画書を作成していく。
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管中心に作成を進めている。作成された計画書を支援者と共に確認する場を設けている。現場サイドからの声を大切にして、利用者様にとってプラスになる様に取り組んでいる。	児発管だけではなく、関わる職員全員で作成していける体制を整えていく。
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画書についてはいつでも確認できるように、閲覧スペースに置いてあり、その日ごとに内容の確認を行っている。	計画書の内容が意識して取り組めるような体制作りをさらに進めていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○	日々、管理者中心とした口頭でのやり取りが行われている状態。気になることがあれば、ノートに記入する事になっている。	それぞれ気が付いたことに対するの書面化しきれていない状態。また、決められたフォーマットがない為、統一できていない状態。
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		利用者様の特性や現状を把握したうえで、児発管を中心として支援者と日々の取り組みの中で支援の確認を行っている。また、設定された支援に対して具体的に取り組んでいる。	支援者誰もが同じ支援を行える体制を作る上で、更なる支援計画書の具体化を進めていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		児発管を中心として立案し、現場に落とし込んで更なる組み立てを行っている。	関わる職員で立案できる体制をさらに模索していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		それぞれの支援者が意見を出し合って活動を決めて固定化されないようにしている。	活動プログラムの設定に時間を要してしまう現状あり。研修などを受講し、マンネリ化しない対策を講じていく。

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	○		プログラム作成時にメイン活動とサブ活動を設定し、個別・集団を組み合わせるようになっている。	子どもの状態により、予定通りにいかないことがある。臨機応変に動けるように色々なパターンを準備できる体制を整える。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		出来る限り誰がどのように動くかを見発管中心に書面に設定し伝えている。その中で支援者が判断して動くこともある。	書面と口頭での確認を行える体制を整えていく。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		管理者中心にその日の事を個々に聞き取りを行うようになっている。	全体的な打ち合わせが仕切れていない状態。今後出来るように体制を整える。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		ノートに個々に気づいたことを記入するようになっている。また、その都度報告があったことを日報に反映し、書面に共有している。	個々により記録の内容がまちまちな為、決められたフォーマット等で具体性が出るように進めていく。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		基本6か月単位でのモニタリングを実施しているが、利用者様の状況により早めることもある。	利用者様の現状把握を共有できる方法を模索して進めていく。
24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		定期的に活動予定に組み込み実施している。	利用者様の障害状況によって差があり、設定するにあたり難しい部分がある。今後、うまく対応できるように進めていく。
25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		日常の中で利用者様に自己選択できるような働きかけを行っている。	利用者様の障害状況によって差があり、設定するにあたり難しい部分がある。今後、うまく対応できるように進めていく。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管、管理者が対応している。	支援者からの具体的な情報をしっかり共有した状態で参加できるように努める。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		直接のやり取りが出来ていない状態。	今後、関係機関と連携を図るべく、保護者様に協力頂き進めていく予定。
28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		児発管、管理者中心に支援センターとのやり取りを行い、助言等を頂いている。	より密に連携が取れるように定期的に関わりが持てるような体制を構築していく。
29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		近隣の児童館や施設を利用することがある。	時間の関係で長時間滞在できないこともあり、直接かかわりを持つことが出来ていない状態。今後イベント等に参加して関わりを増やす。
30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		LINE等で利用者様の様子をお伝えしながら、状況の確認や今後の支援方法の確認などを行っている。	返信を頂く保護者様中心となってしまうことが多い為、定期的にコンタクト取るようにしていく。
31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		実施に向けた研修等を受講している。	実施できていない状態。今後実施に向けて支援者のスキルアップや運営方法を模索していく。
32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】（自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて行っているが、ほとんど保護者様を通して行っている状態。	特に問題なく進められているが、それぞれの関係機関の窓口をしっかりと把握していく予定。
38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		高学年が多い為、実際に情報を共有していない。	今後進めていく予定。
39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		対象者がいない状態。	今後、対象者がいたら実施を進めていく。

関係機関や保護者との連携

	40	<u>【放デイのみ】</u> (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○	参加出来る範囲で参加している。	出来る限り参加できる体制を整えていく。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	アセスメント時に書面を用いてご説明させて頂いている。	特に問題なし。
	42	児童発達支援計画 (放課後等デイサービス計画) を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	アセスメント時に実施させて頂いている。	特に問題なし。
	43	「児童発達支援計画 (放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	アセスメント時からある程度の計画内容をお伝えしている。計画作成後は、書面と共に説明し、同意を得ている。	より分かりやすい計画書、説明が出来るように配慮していく。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	ご相談いただいた方から順に話をさせて頂いている。	今後全員とのやり取りが出来るよう態勢を整えていく。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	交流会の企画を進めようとしている段階。	まだまだ初期段階の為、開催に向けて準備を進めつつ、実施されている事業所を参考に体制を整えていく。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	管理者中心にクレーム等の相談をお受けし、対応に当たっている。	保護者様からのクレームに対して迅速に対応できる体制を整えていく。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	不定期だが書面にて通信を発行している。また、活動の様子等をLINEにてお伝えしている。	更なる情報発信が出来るように模索していく。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	留意している。	特に問題なし。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	視覚化した教材やジェスチャーなどを用いて対応している。	今後よりわかりやすい情報発信の仕方を模索していく。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	進められていない。	今後イベント参加などを通じて関わりを持ったうえで、当事業所主催のイベントが開催できるような体制を整えていく。
	51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	対応している。	内容によっては、判断できないことに対しては関係機関に連絡して対応するようにしていく。
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	避難訓練など定期的実施している。マニュアル等を策定済。	今後、どのような取り組みを行っているかをアセスメント時や通信などでお知らせし、周知を進めていく。
	53	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	定期的に訓練を実施している。	より安全に避難できる方法を職員で確認しながら進めていく。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	初期アセスメント時に確認を行っている。	年度毎に再確認を進めていく。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	初期アセスメント時に確認を行っている。	年度毎に再確認を進めていく。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	日々の中で安全についての確認を行っている。	引き続き安全に管理できる体制を整えていく。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	アセスメント時に確認を行っている。	より分かりやすい発信方法を模索していく。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	日々の中で危険に対する確認 (ヒヤリハット) を行っている。	ヒヤリハット報告が少ない為、定期的に職員各自にヒヤリハット報告を義務付ける取り組みを進めていく。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	定期的に虐待に対する社内研修を実施したり、他事業所で起きた事故事例を共有している。	日々意識できるように、定期的に研修の実施、メンタルチェックの実施を進めていく。
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	対象の利用者様がない。	対象者が出てきた際に対応できるように体制を整えておく。